

令和2年1月10日（金曜日）

少年サポートセンターで、『第3回性被害防止・護身術教室』を実施しました！

少年の居場所づくり実行委員会は、1月10日、少年サポートセンターにおいて、「第3回性被害防止・護身術教室」を開催し、少年1人、保護者1人、「Jumpers」^{ジャンパーズ}（北海道警察学生ボランティア）4人が参加しました。

講演会は、医療法人明日葉会札幌マタニティウイメンズホスピタルの助産師林真帆氏を講師として「生命の尊さ・10代の性とからだ」をテーマにパワーポイントで性感染症や妊娠の仕組みについて学びました。また、実寸大の胎児、新生児人形を抱っこして、大きさや重さを体験しました。

護身術教室では、2人1組のペアを作り、北海道警察護身術訓練指導者（ASEDEL）チームのインストラクターを講師に、痴漢や不審者から身を守る実践的な指導を受けました。

少年からは「赤ちゃんは最初ペンの先くらい小さいと聞いて驚いた」との感想が寄せられました。

参加したJumpersからは「実際に人形で重さや大きさを体験できて良かった」、「助産師さんからのお話はとても興味深く、貴重な経験になった」などの感想が寄せられました。



パワーポイントを見ながら話を聞きました



実寸大の胎児人形を抱っこしました



助産師さんから胎盤の話を知りました



みんなで護身術を習いました